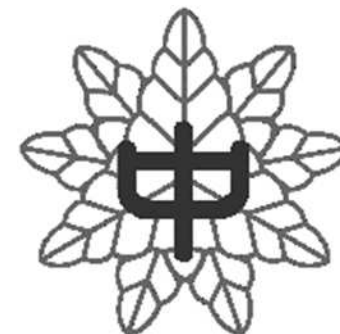


東四つ木地域における 新しい学校づくりの取組について

令和5年12月 葛飾区教育委員会事務局

内容



1 これまでの検討経緯

2 新しい学校づくりについて

1 これまでの検討経緯

新しい学校づくりに向けた方向性の検討について

令和5年2月 「葛飾区学校適正規模等に関する方針」説明会

説明会のポイント

少子化による人口減少が見込まれる中、将来にわたり安定的に学校運営を行うことができるよう、**学校の適正規模**を定めました。

	学級数
小学校	1 2 学級（各学年 2 学級）～ 1 8 学級（各学年 3 学級）
中学校	1 2 学級（各学年 4 学級）～ 1 8 学級（各学年 6 学級）

※中学校は、各学年に複数の学級を確保する観点や、人口減少の中にあっても地域にバランス良く学校を配置するため、9 学級（各学年 3 学級）～ 1 1 学級も許容範囲とします。

令和5年4月 東四つ木地域における学校適正規模の方向性（案）説明会

説明会のポイント

- ・木根川小学校は全学年単学級、渋江小学校は一部の学年で単学級が生じている。
- ・中川中学校は、将来的に単学級が生じる可能性がある。
- ・3校とも、校舎の建築後50年以上が経過している。

	木根川小学校	渋江小学校	中川中学校
学級数、児童・生徒数(※)	6学級・73人	11学級・271人	6学級・173人
建築年	昭和42年	昭和42年	昭和46年

※学級数、児童・生徒数は令和5年5月1日現在の数値



学校の適正規模を確保し、教育環境の充実に向けた取組について、東四つ木地域学校づくり検討懇談会を設置し、地域の方々のご意見を伺いながら検討を進めることとしました。

令和5年4月～ 東四つ木地域学校づくり検討懇談会

検討懇談会の開催

木根川小学校、渋江小学校、中川中学校の学校評議員などの学校関係者・地域代表者から組織する検討懇談会において、活発な議論を重ねました。

令和5年4月～10月にかけて会議開催（7回）



施設一体型校舎（高砂小・中学校）の施設見学



検討懇談会の検討内容①

論点	検討内容
学校統合について	<p>少子化が進む中、<u>早期に木根川小学校と渋江小学校の統合</u>に取り組む必要がある。</p> <p>東四つ木地域に中学校は必要だが、<u>校舎が古いままでは生徒も増えない</u>。中学校の生徒を他の地域に流出させないような工夫が必要である。</p>
新校舎の整備敷地	<p><u>木根川小学校は敷地面積が広く</u>、一般的な4階建て校舎を建設しても<u>自然を残しながら校庭整備が可能</u>。</p> <p>また、<u>隣接する中川中学校に近く</u>、日常的に第二校庭として活用できる。<u>荒川河川敷にも近く</u>、様々な教育活動に利用しやすい。</p>

検討懇談会の検討内容②

論点	検討内容
施設一体型校舎の整備	<p>適正規模の観点から、東四つ木地域において各学校単独での改築は困難。 施設一体型校舎の整備により、東四つ木地域の小・中学校の良さを残した学校をつくり、学びの環境を充実できる。 地震リスクが高まる中、子どもたちや地域の安全のためにも早く施設一体型校舎の整備を進めるべきである。</p>
施設一体型校舎の運営	<p>令和5年4月から施設一体型校舎の運営を開始している高砂小・中学校の教職員、保護者、子どもたち等の生の声をヒアリングした。</p> <ul style="list-style-type: none">・意見①：子どもたちが思いやりの気持ちを持っているため、落ち着いた学校生活を送れている。（教職員）・意見②：校舎が一つになったことでのトラブルは聞かないし、心配していない。小学生と中学生は良好な関係を築けている。（保護者）

2 新しい学校づくりについて

学校統合と施設一体型校舎の整備に向けて

小学校の学校統合

令和7年4月1日に、木根川小学校と渋江小学校の学校統合を行います。

早期に学校統合を行い、適正規模である12学級を安定的に確保します。

学級数・児童数（令和5年5月1日時点）

	合 計		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
①木根川小学校	6	73	1	8	1	10	1	10	1	15	1	19	1	11
②渋江小学校	11	271	2	38	2	52	2	45	2	54	1	34	2	48
③統合後【①+②】	12	344	2	46	2	62	2	55	2	69	2	53	2	59

※学級数は現行制度（1～4年は35人学級、5～6年は40人学級）で算出



統合小学校の運営開始に向けて、今後、木根川小学校と渋江小学校の連携をより深めながら準備を進めていきます。

統合小学校の校名選定

木根川小学校と渋江小学校の統合小学校の校名を募集します。

木根川小学校と渋江小学校は、学校統合により新しい小学校になります。

そこで、新しい小学校を皆さまとともにつくっていく第一歩として、統合小学校の校名案を募集します。

また、木根川小学校、渋江小学校、中川中学校を通じて児童・生徒にも、応募を呼びかけていきます。



ご応募いただいた校名案の中から、令和6年1月開催予定の検討懇談会で選定を行います。

校名案の応募方法

東四つ木地域の子どもたちの未来を育む学校の校名案を、ぜひご応募ください。

1 オンライン

二次元コードをスマートフォン等で読み取り、WEBフォームにご入力ください。
葛飾区ホームページからもご応募いただけます。

ご応募はこちら！



2 ハガキ・FAX

①校名案、②校名案のふりがな、③校名案の理由をご記入の上、お送りください。

送付先：〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 葛飾区教育委員会事務局 学校環境整備担当課
FAX：03-5698-1540

3 応募期限 令和6年1月3日（水）消印有効



現在ある区立小学校と同じ校名（※）は使用できませんので、ご注意ください。
必ずしも応募数の多い校名案が選定されるものではありません。

※応募方法等の詳細は、別紙の統合小学校の校名募集案内をご参照ください。 12

施設一体型校舎の整備

統合小学校と中川中学校の施設一体型校舎の整備を行います。

令和5年12月、木根川小学校・渋江小学校・中川中学校の3校を次期改築校に選定し、統合した小学校と中川中学校の施設一体型校舎として整備することとしました。

今後、施設一体型校舎の整備に向けて、基本構想・基本計画、設計に着手します。



より小中連携教育を行いやすい環境を整備することで、学力向上や健全育成などに連続性を保ちながら取り組み、中学校への円滑な接続を図ります。



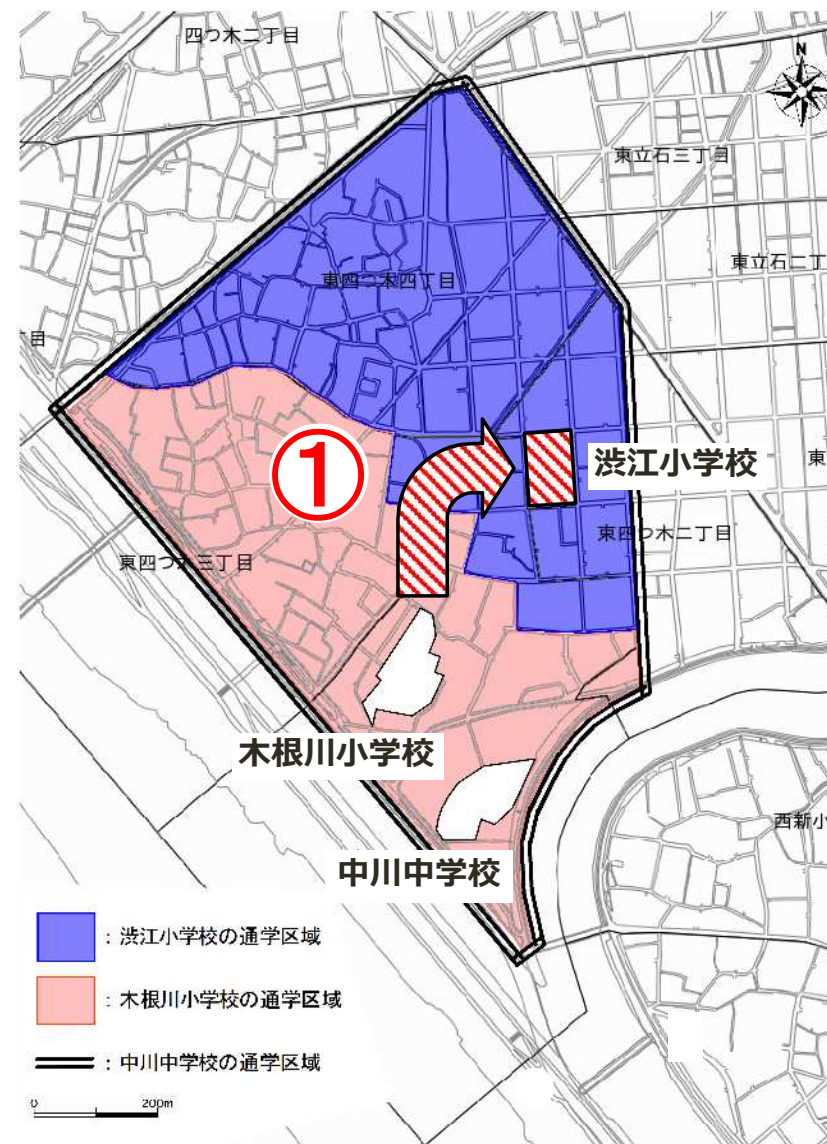
東四つ木地域の子どもたちに良好な教育環境を提供するとともに、通い慣れた学校に通学することで中1ギャップの解消を図ります。

新校舎の整備イメージ①

①令和7年4月1日
木根川小学校と渋江小学校を学校統合



新校舎竣工までの間、渋江小学校敷地において学校運営を行います。

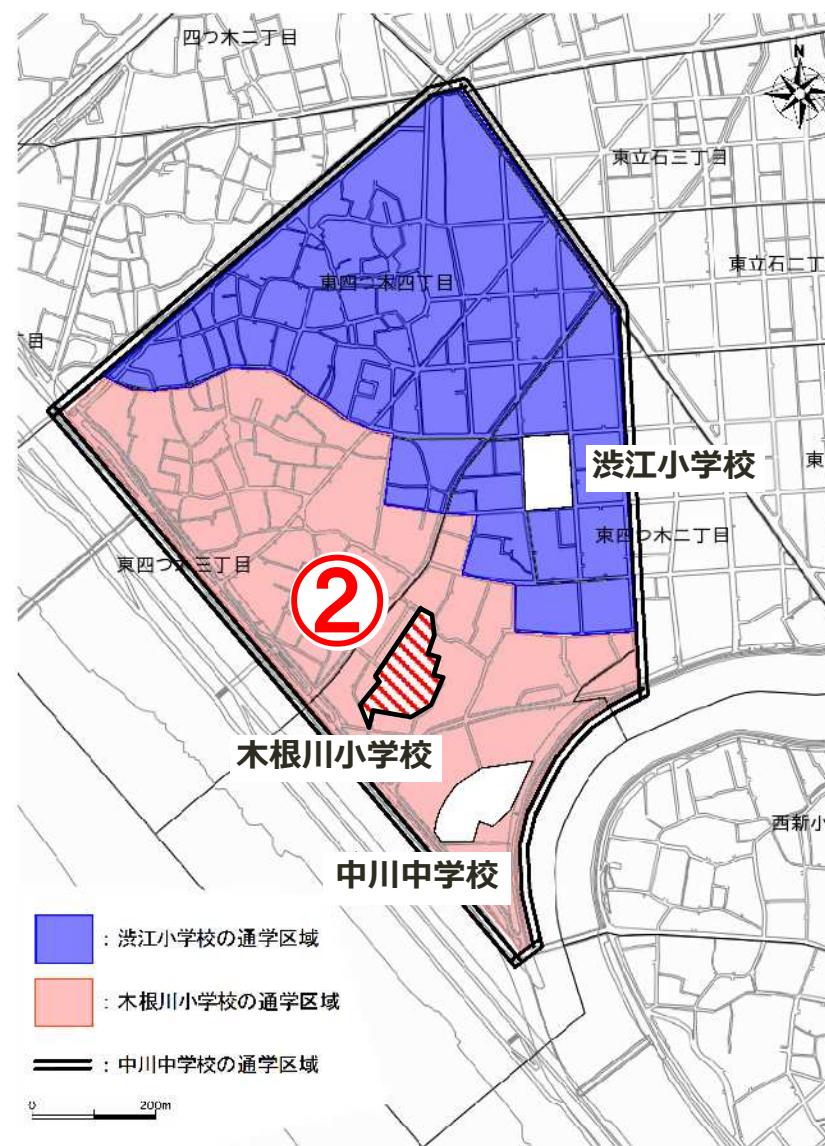


新校舎の整備イメージ②

②令和8～10年度
空校舎を施設一体型校舎として改築



学校統合後、空校舎となる木根川小学
校敷地に施設一体型校舎を整備します。



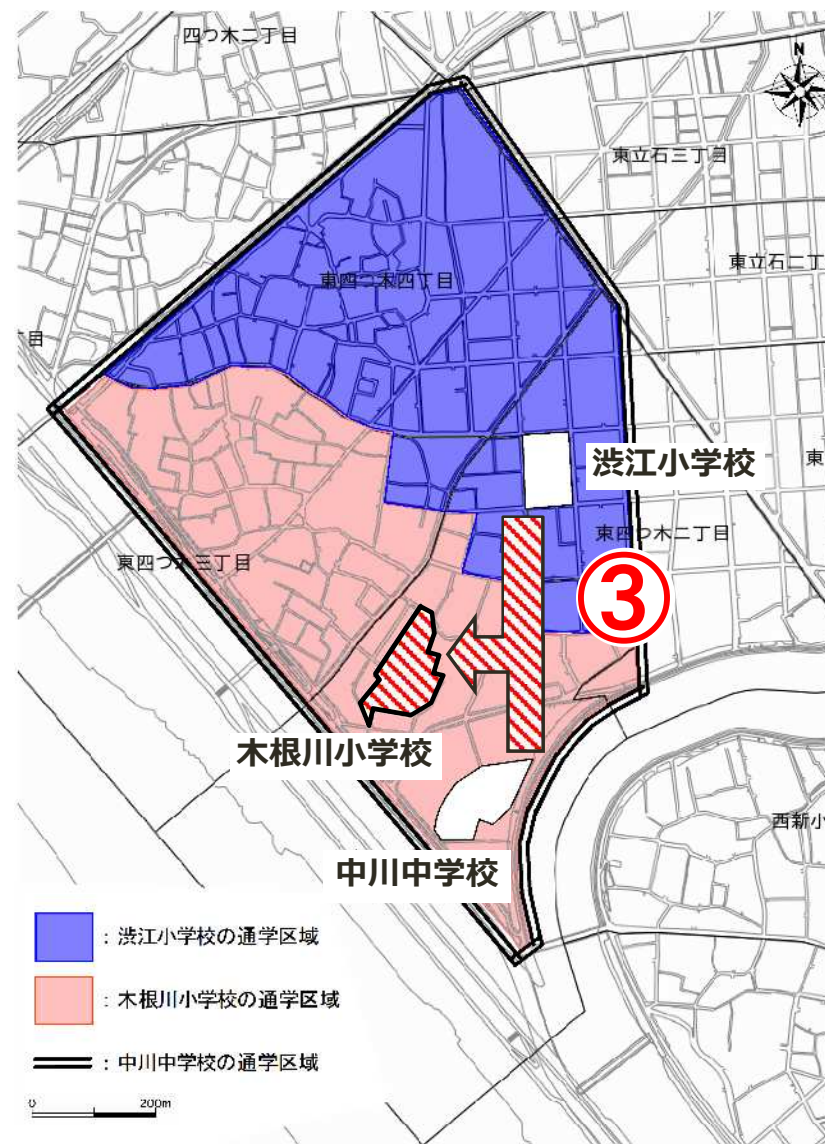
新校舎の整備イメージ③

③令和10年度
統合小学校・中川中学校が移転



新校舎の竣工後、統合小学校と中川中学校が新校舎に移転します。

※中川中学校跡地は第二校庭として活用



検討課題

中川中学校の 適正規模	京成立石駅周辺の市街地再開発事業の進捗に合わせて、通学区域の見直しにより適正規模を確保する方向で引き続き検討します。
渋江小学校の 跡地活用	渋江小学校跡地については、地域の方々にとって有益となるような活用方法を検討していきます。



今後も、東四つ木地域における新しい学校づくりに当たり、様々な機会を捉えて地域の方々や子どもたちのご意見を反映できるよう取組を進めていきます。

今後のスケジュール（案）

令和6年度	葛飾区立学校設置に関する条例改正 施設一体型校舎の基本構想・基本計画、基本設計・実施設計
令和7年度	木根川小学校・渋江小学校の学校統合（渋江小学校敷地） 施設一体型校舎の実実施設計、解体工事（木根川小学校敷地）
令和8～10年度	新校舎建設工事（木根川小学校敷地）
令和10年度	新校舎竣工（統合小学校、中川中学校が新校舎に移転）

木根川小学校と渋江小学校の 統合小学校の校名を 募集します！

木根川小学校と渋江小学校は、令和7年4月1日に統合して、新しい小学校になります。

東四つ木地域の子どもたちの未来を育む学校にふさわしい校名案を募集しますので、ぜひご応募ください。

※児童・生徒には各学校を通じて別途、募集を行います。



ご応募はこちら！



応募期限

令和6年1月3日(水)

【担当事務局】 葛飾区教育委員会事務局 学校環境整備担当課

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

電話 03-5654-6129 / FAX 03-5698-1540